

FUJITSU Software NetCOBOL 機能一覧

Windows (64bit)

開発環境製品	2
運用環境製品	5
クライアント運用	5
サーバ運用	5

開発環境製品

コンポーネント名	機能名		Base Edition	Standard Edition	Enterprise Edition
NetCOBOL	COBOL 開発環境	NetCOBOL Studio (注 1-2)	○	○	○
	リモート開発 (NetCOBOL Studio)	[ターゲット] Windows (64bit) Linux (64bit) Solaris (32bit) Solaris (64bit)	○	○	○
	コンパイラ		○	○	○
	デバッガ		○	○	○
	64 ビットアプリケーション作成 (注 1-1)		○	○	○
	データベース		○	○	○
	Interstage Business Application Server 連携		×	×	○
FORM (FORM オーバーレイオプション)	画面、帳票設計支援		×	○	○
MeFt	画面、帳票の運用環境		×	○	○
	帳票の電子化		×	○	○
MeFt/Web	Web アプリケーション構築支援		×	○ (注 1-3)	○ (注 1-3)
MeFt/Web HTML 変換方式	HTML を使用した web アプリケーション構築支援		×	○ (注 1-5) (注 1-6)	○ (注 1-5) (注 1-6)
ファウンデーション クラス	Java 連携(J アダプタークラスジェネレータ) (注 1-4)		×	○	○
SIMPLIA/COBOL 支援キット	テストデータ作成支援		×	×	○
	プラットフォーム間の移行支援		×	×	○
	開発規模の計測		×	×	○
富士通メインフレーム浮動小数点演算エミュレータ	富士通メインフレーム形式の浮動小数点演算		×	×	○ (注 1-5)
PowerSORT	高性能データ・ソートマージ		×	×	○

注 1-1) 運用時は、64bit の運用環境製品が必要となります。

なお、64bit の開発環境製品では、32 ビットアプリケーションを作成することはできません。

注 1-2) NetCOBOL Studio を使用する上で以下をご確認ください。

- NetCOBOL V11a および V12a 以降では、NetCOBOL Studio を使用する前にあらかじめ Adoptium が提供する OpenJDK 8 の Windows(x86)用 JRE をお客様が入手してインストールしていただく必要があります。
- NetCOBOL Studio V10 で作成したワークスペースおよび COBOL プロジェクトは、V11 / V11a でオープンすると、V11 用のワークスペースおよび COBOL プロジェクトに自動変換されます。変換後の V11 用のワークスペースおよび COBOL プロジェクトは、NetCOBOL Studio V10 では利用できません。

なお、V10.5 以前の Eclipse3.2 基盤の NetCOBOL Studio で作成したワークスペースをオープンする場合には、ワークスペースを アップグレードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。この場合は、[はい]をクリックしてワークスペースをアップグレードしてください。

注 1-3) MeFt/Web アプリケーションの利用時には、以下のソフトウェアが必須です。

- サーバ側

Microsoft Internet Information Server 7.5 以降

クライアント側

- Microsoft Edge (IE モード)

以下の OS での利用が前提となります。

- Windows 11
- Windows 10

Windows 11 での利用は、NetCOBOL V12a (V12.2.0) 以降となります。

- Microsoft Internet Explorer 11 (32bit 版)

※Internet Explorer 11 については、32bit 版のデスクトップ用 Internet Explorer で使用する必要があります。

また、以下の OS での利用が前提となります。

- Windows 8.1

※2022 年 6 月 16 日で Windows 10 における Internet Explorer のサポートは終了しました。

注 1-4) Windows(64bit)版の JDK/JRE が別途必要です。

富士通製 JDK/JRE は、Interstage Application Server に同梱されています。

Oracle 製 JDK/JRE は、Oracle 社 Java SE のダウンロードページから入手できます。

アダプタクラスの生成および翻訳で使用する JDK とアダプタクラスの実行で使用する JRE は、バージョンを合わせてご利用ください。

注 1-5) V12.0.0 から提供した機能です。

注 1-6) MeFt/Web HTML 変換方式は、以下の Web ブラウザとの組み合わせを確認しています。

- Microsoft Edge

V12.2.0 より Chromium ベースの Microsoft Edge をサポートしました。

Internet Explorer および Microsoft Edge レガシとは表示が異なる場合があります。十分なテストを実施し、表示を確認してください。

※2022 年 6 月 16 日で Internet Explorer のサポートは終了しました。

また、MeFt/Web HTML 変換方式では、スマートデバイスでのブラウザを利用した運用に対応しています。サポートブラウザ等の詳細情報は、[スマートデバイスにおける動作条件](https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/)(<https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/>)を参照してください。

運用環境製品

アプリケーションを、クライアント上で運用する場合には「クライアント運用環境製品」を、サーバ上で運用する場合は「サーバ運用環境製品」をご利用ください。各製品の動作環境については、動作環境を参照してください。

クライアント運用

コンポーネント名	機能名	Base Edition	Standard Edition
NetCOBOL	64 ビットアプリケーション実行	○	○
	データベース	○	○
	診断機能	○	○
MeFt	画面、帳票の運用環境	×	○

サーバ運用

コンポーネント名	機能名	Base Edition	Standard Edition	Enterprise Edition
NetCOBOL	64 ビットアプリケーション実行	○	○	○
	データベース	○	○	○
	診断機能	○	○	○
	Interstage Business Application Server 連携	×	×	○
MeFt	画面、帳票の運用環境	×	○	○
	帳票の電子化	×	○	○
MeFt/Web	Web アプリケーション構築支援	×	○ (注 2-2)	○ (注 2-2)
MeFt/Web HTML 変換方式	HTML を使用した Web アプリケーション構築支援	×	○ (注 2-3)(注 2-4)	○ (注 2-3)(注 2-4)
ファウンデーションクラス	Java 連携(J アダプタークラスジェネレータ)(注 2-1)	×	○	○
富士通メインフレーム浮動小数点演算エミュレータ	富士通メインフレーム形式の浮動小数点演算	×	×	○ (注 2-3)
PowerSORT	高性能データ・ソートマージ	×	×	○

注 2-1) Windows(64bit)版の JRE が別途必要です。

富士通製 JRE は、Interstage Application Server に同梱されています。

Oracle 製 JRE は、Oracle 社 Java SE のダウンロードページから入手できます。

アダプタクラスの生成および翻訳で使用する JDK とアダプタクラスの実行で使用する JRE は、バージョンを合わせてご利用ください。

注 2-2) MeFt/Web アプリケーションの利用時には、以下のソフトウェアが必須です。

- サーバ側

Microsoft Internet Information Server 7.5 以降

クライアント側

- Microsoft Edge (IE モード)

以下の OS での利用が前提となります。

- Windows 11
- Windows 10

Windows 11 での利用は、NetCOBOL V12a (V12.2.0) 以降となります。

- Microsoft Internet Explorer 11 (32bit 版)

※Internet Explorer 11 については、32bit 版のデスクトップ用 Internet Explorer で使用する必要があります。

また、以下の OS での利用が前提となります。

- Windows 8.1

※2022 年 6 月 16 日で Windows 10 における Internet Explorer のサポートは終了しました。

注 2-3) V12.0.0 から提供した機能です。

注 2-4) MeFt/Web HTML 変換方式は、以下の Web ブラウザとの組み合わせを確認しています。

- Microsoft Edge

V12.2.0 より Chromium ベースの Microsoft Edge をサポートしました。

Internet Explorer および Microsoft Edge レガシとは表示が異なる場合があります。十分なテストを実施し、表示を確認してください。

※2022 年 6 月 16 日で Internet Explorer のサポートは終了しました。

また、MeFt/Web HTML 変換方式では、スマートデバイスでのブラウザを利用した運用に対応しています。サポートブラウザ等の詳細情報は、[スマートデバイスにおける動作条件](https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/)(<https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/>)を参照してください。